

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

園芸福祉ガーデンの企画、運営、管理を行う。
園芸福祉ガーデンに必要なものの企画、設計、施工を行う。

《教科書》

『社会園芸学のすすめ』（松尾英輔）農文協

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題についてはレベルに達するまで添削を行う。

《授業の到達目標》

- 1 ユニバーサルデザインの理念と基礎を学び、安全で安心な暮らしを理解する。
- 2 植物を介して人とのつながりを深め、利他的な考え方を身につけ。共感する心を養う。
- 3 植物の育成管理を通して、生きているものへの理解と愛着を養う。
- 4 地域社会に貢献するやりがいと達成感を味わう。

《成績評価基準》

課題の提出状況、内容、授業への取り組みで判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題40% 実技 %
授業の取組60%
その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	ガイダンスから自分の課題を考え、調べ学習を始める(2時間)。
2	講読1	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
3	講読2	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
4	講読3	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
5	講読4	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
6	講読5	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
7	講読6	講読の範囲を読んでおく(1時間)。 ノートにまとめたり調べたりする(1時間)。
8	発表1	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
9	発表2	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
10	発表3	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
11	発表4	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
12	発表5	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
13	発表6	発表する内容をまとめる(1時間)。 指摘を受けたり考えたりしたことをまとめ調べる(1時間)。
14	中間まとめ 1	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。
15	中間まとめ 2	中間まとめに向かってこれまでを振り返り整理する(2時間)。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	高宮 さやか				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

庭園・緑地の設計・施工・維持管理及び提案などの作業を通じて「庭園とはなにか」を考えるために、『作庭記』のほか適宜、文献講読 研究課題に沿った調査・分析や設計・施工、または提案書・模型の作成等 文化財庭園の維持管理作業への参加 維持管理に必要な樹木保全技術習得の一環として樹木簡易診断を行う。 の作業は造園会社で設計・施工・営業を担当してきた実務家教員が、実務に役立つ方法で指導する。

《授業の到達目標》

日本庭園の文化的背景と伝統的作庭技法を学び、これを出発点として今後の我が国の庭園・緑地の在り方を考えることができるようになる。

古今東西の庭園を様々な角度から考察し、その源泉である文化や自然観に触れ、各人の庭園観を確立する。

《成績評価の方法》

課題 40%
授業の取組 50%
その他（発表） 10%

《教科書》

小笠雅章『図解 庭師が読みとく作庭記・山水並野形図』学芸出版社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

添削して1週間以内に返却する。

《成績評価基準》

演習への取組態度と成果品の仕上がりを重視する。
発表への取組態度とその表現力も評価する。

《参考図書》

(一財)日本緑化センター『最新・樹木医の手引き』

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	調査・設計・施工・提案書作成	予習：作業の準備(2時間) 復習：進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
2	調査・設計・施工・提案書作成	予習：作業の準備(2時間) 復習：進捗状況の確認・問題点の解決(2時間)
3	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習：作業の準備(2時間) 復習：問題点の解決(2時間)
4	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習：作業の準備(2時間) 復習：問題点の解決(2時間)
5	調査・設計・施工と集計・分析・仕上げ	予習：作業の準備(2時間) 復習：問題点の解決(2時間)
6	正午の茶事	予習：写真集等で露地の使い方を調べておく(2時間) 復習：本日の体験をレポートにする(2時間)
7	庭園・緑地の樹木保全技術	予習：作業の準備(2時間) 復習：データの整理(2時間)
8	庭園・緑地の樹木保全技術	予習：作業の準備(2時間) 復習：データの整理(2時間)
9	庭園・緑地の樹木保全技術	予習：作業の準備(2時間) 復習：データの整理(2時間)
10	文化財庭園の維持管理	予習：現地確認と道具の準備(2時間) 復習：写真整理(2時間)
11	文化財庭園の維持管理	予習：道具の準備(2時間) 復習：写真整理とレポート作成(2時間)
12	文化財庭園の維持管理	予習：道具の準備(2時間) 復習：写真整理とレポート作成(2時間)
13	文化財庭園についての討議・提案・意見集約	予習：作業した内容を振り返っておく(2時間) 復習：意見集約(2時間)
14	まとめ 発表準備	予習：最終発表の準備(2時間) 復習：指摘事項の解決(2時間)
15	まとめ 発表準備	予習：最終発表の準備(2時間) 復習：指摘事項の解決(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	宮島 淳二				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

昆虫の調査方法を学び、それにより環境評価を行った文献を学ぶ。これを基に身近にある西公園や大濠公園等において、チョウ類の生息状況調査を定期的に行うとともに、植生調査を行い、チョウ相の季節変化の把握や環境評価に取り組む。担任の宮島教授は前職が県の技術職（研究職）であったことから、長年の経験を生かして、森林調査や生物調査のとりまとめ方に現場で適宜指導する。

《授業の到達目標》

チョウ類、植生など生物調査の方法を身につけ、主体的に動いてデータ収集ができるようになる。また、収集したデータを基に、分析して自然環境を評価できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組50%
その他 () %

《教科書》

フィールドガイド日本のチョウ（年度当初に配布する。）
必要に応じて資料を配付する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

校外研修などを行った場合は、レポートを課す。また、調査のつど、説明を行ったり、質問したりして、学生の調査への積極性や自主的な学習量を判断する。

《成績評価基準》

授業の取り組み：教室での論文講読、現地での活動で他のメンバーと協力して、積極的に取り組んでいるか、また、チョウ類や植物の同定でできるか評価する。

《参考図書》

「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方」福山晴夫ほか、南方新社、「葉で見分ける樹木」林将之、小学館、「チョウの調べ方」日本環境動物昆虫学会編、文教出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	第6回チョウ類調査（二丈キャンパス）	予習：事前にメールされた内容を熟読して、チョウ類を記憶しておくこと（2時間） 復習：授業で学んだことを配付資料、参考書を使って確認する。（1時間）
2	第8回現地調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
3	第7回現地調査（二丈キャンパス）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
4	第9回現地調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合してその特徴を確認・記憶する（1時間）
5	第8回現地調査（二丈キャンパス）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
6	第10回チョウ類調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
7	第9回チョウ類調査（二丈キャンパス）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
8	第11回チョウ類調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
9	第10回チョウ類調査（二丈キャンパス）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
10	第12回チョウ類調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する。（2時間）
11	白野江植物公園研修	予習：アサギマダラ、白野江植物公園について事前に調べる。（1時間） 復習：見学した内容を整理し、レポートを作成する。（1時間）
12	第11回チョウ類調査（二丈キャンパス）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
13	第13回チョウ類調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
14	第14回チョウ類調査（西公園・大濠公園）	予習：以前の配付資料、チョウ類図鑑で調査に方法を考えること（1時間） 復習：調査で確認されたチョウ類を図鑑と突合して特徴を確認・記憶する（1時間）
15	第15回チョウ類調査	予習：全回の調査データを整理し、レジュメ・パワポにまとめる。（10時間） 復習：レジュメ・パワポにまとめた内容を精査する。（10時間）

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

1. ランドスケープデザイン、2. コトとしてのデザインの在り方、3. 社会・環境貢献できるデザインと技術を持ったランドスケープアーキテクトへの成長の大きく3点をこのゼミでのミッションとしたい。そして理論としてのランドスケープデザインのみならず、現場・敷地・素材からデザインにアプローチすることに主眼を置き、空間制作、プレゼンテーション、対話の3つの方法でミッションへのアプローチを行う。

《授業の到達目標》

社会的な課題をとらえ、敷地を読み取りながら、明確なランドスケープのデザインプロセスを通して実際に複数の空間制作を行う。手描き、CAD、模型など空間デザインを伝えるための、様々な手法で表現できる。illustratorなどのアプリケーションを活用し、デザインを伝える提案・レイアウトができる。勉強会の企画・参加、空間制作などとおし、様々な人と対話・交流し、コミュニケーション・人脈づくりを行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 30 % その他 () 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

空間デザインに関してはエスキスの段階で定期的にチーム単位でチェックと講評を行う。またポートフォリオに関しても年4回のチェックを設けコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

ポートフォリオおよび作品成果品60%、受講態度30%、発表10%の構成で、到達目標 ~ に加え、授業内で設定する課題の達成度に対応して総合的に評価する。

《参考図書》

ランドスケープデザインの視座 / 宮城俊作 / 学芸出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	生産地見学	予習：インターネットなどで生産地の特性などを調べておく 復習：写真、メモなどを整理しておく
2	素材のリサーチ	予習：インターネットなどで指定された素材について調べておく 復習：写真、問題点の整理
3	素材のリサーチ	予習：インターネットなどで指定された素材について調べておく 復習：写真・資料の整理
4	デザイン4	予習：指定された課題のエスキスの作成 復習：エスキスの修正、問題点の整理を行う
5	デザイン5	予習：指定された課題のエスキスの作成 復習：エスキスの修正、問題点の整理を行う
6	デザイン6	予習：設計図書の作成 復習：問題点の整理
7	デザイン7	予習：設計図書の作成 復習：問題点の整理
8	空間施工5	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：問題点の整理
9	空間施工6	予習：施工方法・施工計画の確認をしておく 復習：問題点の整理
10	プレゼンテーション	予習：過去のデータの確認 復習：問題点の整理
11	プレゼンテーション	予習：パワーポイント・illustratorのデータの作成 復習：指摘された問題点の修正
12	プレゼンテーション	予習：発表の準備 復習：問題点の整理
13	報告書とプレゼンテーション資料制作	予習：ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習：問題点の修正
14	報告書とプレゼンテーション資料制作	予習：ノート・メモ・写真の記録を整理しておく 復習：問題点の修正
15	ポートフォリオの制作2	予習：図面・エスキス・写真・記録などの整理 復習：レイアウトの問題点の修正

《専門科目》

科目名	ガーデニング実習				
担当者氏名	西川 真水、宮島 淳二、高宮 さやか、山本 俊光				
授業方法	実習	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

1年次に各コースの特性に合わせて学んだ現場スキルと、様々な講義科目などを通して得た知見、また設計演習で学んだ空間作りの基本プロセスを土台に、本実習では、ゼミナールごとに敷地空間の設計から施工までを行う。二丈キャンパス等においてゼミナール別にテーマ・敷地条件を設定し、平面図・詳細図等の設計図書を作成し、このデザインをもとに施工を行うことで、構想・計画・設計・施工までのプロセスを学ぶ。

《授業の到達目標》

- ・造園・ランドスケープ・緑地環境に関わる空間の構想・計画
- ・設計・施工管理・維持管理等の一連の作業の流れを学ぶ。
- ・実地での技術を各論として学んだ総合実習（1年次通年科目）の成果や専門科目で得た知識を基礎に総合化し、集約的に再習得する。

《成績評価の方法》

実技 30%
 授業の取組 50%
 その他（設計計画） 20%

《教科書》

使用しない

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組及び技術習得の度合いを総合評価。授業の取組50%、実技30%、設計計画20%で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編
 造園施工必携
 建設物価

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ドローン操作による敷地調査	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
2	ドローン操作による敷地調査	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
3	測量・遣方	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
4	石組工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
5	石組工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
6	石組工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
7	工作物	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
8	工作物	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
9	工作物	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
10	高木植栽工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
11	高木植栽工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
12	低木・地被植栽工	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
13	工事記録収集	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
14	工事記録収集	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）
15	工事記録とりまとめ	予習：実習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。（2時間） 復習：今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと（2時間）

《専門科目》

科目名	植物育成管理学				
担当者氏名	宮島 淳二				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

緑地の意義及びそれを構成する植物の形態、生理、生態などの諸特性を理解を深め、実際に植物を育成管理のあり方を学ぶ。とりわけ、県庁の林業技術職員を務めた実務家教員が、樹木の生育環境や樹木の育成管理について、苗木の育成から樹木の造成目的に合わせた管理の方法について講義を行う。

《教科書》

1. 緑地環境学
2. 絵解き植物生理学入門

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、回答例を授業で解説する。

《授業の到達目標》

緑地環境の主役である植物の形態、生理、生態などの諸特性を理解し、実際に植物を育成管理する際にその知見を応用することができるようになる。

《成績評価基準》

樹木鑑定試験：12月に実施する樹木鑑定試験で70%以上の得点であること。
レポート：期限内に提出し、60%以上の正答率であること。
筆記試験：レポートの成績と合算して、60%以上の得点であること。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 20%
実技(樹木鑑定) 20%

《参考図書》

樹木医の手引き

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	緑地環境と人間	予習：教科書「緑地環境と人間生活」及び「人間と緑地環境」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
2	植物の生育と緑地環境	予習：教科書「緑地植物の生育と緑地評価」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
3	樹木の特徴	予習：教科書「木本緑地植物の種類と生態」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
4	樹木の構造と機能	予習：樹木医の手引き「樹木の構造と機能」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
5	植物の生理(水分)	予習：教科書「第2章環境」の「水」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
6	植物の生理(土壌)	予習：教科書「緑地植物の生育と緑地評価」の3.緑地の土壌環境評価の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
7	植物の生理(気象)	予習：教科書「緑地植物の生育と緑地評価」の3.緑地の気象環境評価の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
8	植物の生理(光)	予習：教科書「第2章環境」の「光」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
9	植物の生理(光合成)	予習：教科書「第5章光合成と代謝」の「光合成」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
10	植物の生理(微生物)	予習：教科書「第6章栄養」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
11	植物の生理(微生物)	予習：樹木医の手引き「第6章樹木と菌類のかかわり」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
12	植物の生理(大気汚染)	予習：樹木医の手引き「第8章樹木と環境ストレス」の第2節大気汚染の診断と対策の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
13	育成管理1	予習：教科書「緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
14	育成管理2	予習：教科書「緑地環境の創出と保全」の頁に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
15	まとめ	予習：教科書、配付した資料に目を通しておくこと(2時間) 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)

《専門科目》

科目名	環境設計演習				
担当者氏名	勝野 靖弘				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

近隣の公園などの敷地に新しい空間を作ること想定してデザインしてもらいます。手描きの図面作成。現況分析のまとめ。模型作成。イラストレーターでのプレゼンボード作成。簡潔で分かりやすい発表。など、段階ごとに色々な方法でイメージを伝える技術を学んでもらいます。

《授業の到達目標》

環境（空間）デザインの手法と、自分のデザインイメージを表現する手法を学んでもらいます。敷地の詳細情報を把握し、周辺環境や利用者の気持ちなどを分析・想像しながら、「この場所にあつたらいい」空間をデザインしてもらいます。自分のデザインの良さを人に伝えられるようにするために、図面作画、現況分析やコンセプトの表現、リアルなイメージを伝えるためのスケッチや写真の使い方などを学んでもらいます。

《成績評価の方法》

課題 70%
授業の取組 30%

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《成績評価基準》

授業態度 30%（前半の分析資料作成貢献度など） 成果品完成度 70%

《参考図書》

ランドスケープデザイン（（株）マルモ出版）
庭 NIWA（（株）建築資料研究社）
九州ウォーカー（KADOKAWA） など

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・課題の設定	予習：色々なランドスケープ（実物・写真など）を見ておく 2h 復習：課題内容とスケジュールの再確認 1h
2	現地調査	予習：現地や関連施設等の下見。写真撮影、スケッチなどで理解を深める。6h 復習：毎回の授業内容で受けたアドバイスに従い、メモやスケッチを丁寧に作成する。3h
3	テーマの決定	
4	現地・敷地分析図の作成	
5	課題地の原図作成	予習：授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換する時間にするために、デザイン案の作成や事例収集・関連情報の調査などは授業前に用意しておく。 9h
6	コンセプトワーク・ラフスケッチ等エスキス作成	
7	コンセプトワーク・ラフスケッチ等エスキス作成	
8	平面図作成	予習：授業中は、アドバイスをもらったり、学生同士で情報交換しながら修正作業をする時間にするために、図面は授業前に作成しておく。 9h
9	平面図作成	
10	パース・ダイアグラムなどの作成	
11	パース・ダイアグラムなどの作成	予習：必要なデータを準備し、イラストレータの基本操作、編集やレイアウトのための新機能を覚える。また図面表現や、編集技術について質問事項を準備しておく。9h
12	プレゼンテーション・資料作成の作成	
13	プレゼンテーション・資料作成の作成	
14	プレゼンテーション・資料作成の作成	予習：プレゼンテーションの練習 2h 復習：指摘事項の修正4h
15	プレゼンテーション	

《専門科目》

科目名	測量実習				
担当者氏名	田上 博、永島 知子				
授業方法	実習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。				

《授業の概要》

「測量実習」を基礎としてより実践的な測量に関する技術を習得する実習です。造園の設計・施工に必要な平面測量・路線測量の理論と実習を行います。同時に GPS や GIS を活用した新しい測量に関する実習も行います。コンピュータによる実習では Excel・Arc GIS・Google Map などを使います。関数電卓と製図道具が必要です。

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」（コロナ社）
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

距離測量・水準測量・角測量など、それぞれの測量を行うだけでなく、それらの結果を用いて座標計算を行うなど応用的な測量ができるようになる。また、表計算ソフトを活用して測量計算など、実務に活用できる技術を身につける。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」（日本測量協会）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	トータルステーションによる細部測量の計算法	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
2	コンピューターによる測量計算	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
3	コンピューターによる測量計算	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
4	コンピューターによる測量計算	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
5	コンピューターによる測量計算	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
6	コンピューターによる測量計算	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
7	GPS 測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
8	GPS 測量	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
9	GIS の理論	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
10	GIS の理論	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
11	GPS 測量を利用した GIS	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
12	GPS 測量を利用した GIS	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
13	GIS の構築	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
14	GIS の構築	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要
15	まとめ	予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要

《専門科目》

科目名	都市計画				
担当者氏名	久保田 家且				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

1. 都市の発達の歴史及び都市計画の制度等を体系的に講義する。
2. 都市計画による計画的な都市整備について講義する。
3. 都市計画による緑地空間の確保について詳述する。
4. 近未来の都市計画等について講義する。

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート等は2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

1. 都市計画全般の基礎知識を習得する。
2. 都市計画上の緑地空間の位置づけについて学ぶ。
3. 都市計画による緑地空間の確保手法を習得する。以上のことを目標とする。

《成績評価基準》

筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 30%
授業の取組 10%

《参考図書》

「欧米公園発達史」佐藤昌 (株)都市計画研究所、「都市計画」橋木武 森北出版(株)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
2	都市の歴史と都市計画	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
3	都市計画の定義と制度	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
4	都市計画の内容と決定等	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
5	都市計画区域と区域区分	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
6	地域地区による土地利用と都市施設	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
7	都市計画と建築	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
8	市街地開発事業と都市の再生	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
9	都市のオープンスペース	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
10	都市のオープンスペース	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
11	現地見学	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
12	都市景観と歴史的風致のまちづくり	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
13	都市の安全安心	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
14	都市計画の課題と近未来の都市計画	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)
15	まとめ	予習：都市計画関連図書により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間)

《専門科目》

科目名	住環境論				
担当者氏名	西川 真水				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

人間の生活する環境は地球上の広範囲に広がる。私たち日本で生活する者にとっては温帯モンスーンの湿潤な気候を考慮しなければならぬし、近年の温暖化の影響を考えた住環境のあり方を意識しなければならない。私たち造園・ランドスケープに関わるデザイナー・技術者は様々な影響下で如何に住環境のデザイン・整備に関わっていくのか講義する。

《教科書》

プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

最終的に提出された、ノート・レポートと課題は必要なコメントを添えて発表会後に返却する。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープの視点から住環境の歴史を説明でき、実際の計画・設計に関係づける。
都市環境・住環境に関する様々な知識・ポキャブラリーを説明できる。
まちなみや地域環境を形成するデザインコードを発想し、実際に説明できる。

《成績評価基準》

到達目標 に対し、提出ノート・レポート(40%)で講義記録と予習復習が行われているか、また到達目標 に対して提出課題(40%)で、街並みや社会的要請が明確に理解され、造園・ランドスケープ分野のプランニングやデザインに展開できているかを評価し、さらに授業への取り組み態度を加えて総合的に成績を評価する。

《成績評価の方法》

レポート 40%
課題 40%
授業の取組 20%

《参考図書》

「エクステリアプランナーハンドブック」建築資料研究社
「向こう三軒両隣り」田中敏博/インデックス・コミュニケーションズ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・都市の定義	予習：福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
2	古代都市の生活空間	予習：福岡のまちを実際に歩いてみておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
3	ギリシャ・ローマ時代の都市(都市計画の始まり)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
4	人口集中する都市の生活空間	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
5	中世都市(自然発生的都市と住環境)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
6	ルネッサンス・バロック時代の都市(広場と道)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
7	住環境の尺度1(人口と面積)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
8	住環境の尺度2(法的側面)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
9	近代都市(社会資本の概念、発達する都市)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
10	都市の保存(ローマ・中世都市の現在)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
11	アメニティとアセスメント	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
12	住環境に関する数学(応用統計学)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
13	住環境に関する数学(空間情報工学)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
14	住環境に関する数学(地理情報システム)	予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、講義で解説したわからない用語などを調べておく(2時間)
15	GPS とまとめ	予習：前回の講義ノートの確認(3時間) 復習：講義ノートのまとめ(2時間)

《専門科目》

科目名	環境保全論				
担当者氏名	宮島 淳二				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

造園家の環境保全に対する社会的責務を学び、その上で一般的な環境保全の問題について学ぶ。最終的には現在社会で問題となっている「環境問題」は全地球あるいは惑星規模での問題であることについて学ぶ。また、「身近に起こっている環境問題」というテーマでグループ討議を行い発表する。県庁林業技術職を務めた実務家教員が森林・林業を対象とした自然環境の諸問題について解説する。

《授業の到達目標》

「環境問題」について、造園家の立場からの考えや一般的な環境保全の問題について学ぶことにより、現在社会で問題となっている「環境問題」とはどういうものかを的確に理解し、自ら説明できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 20%
授業の取組 20%

《教科書》

「地球環境がわかる」西岡秀三、宮崎忠国、村野健太郎技術評論社、「緑地環境学」永井富久、文永堂出版株式会社、ガイドンスで資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートは提出後速やかに採点し、コメントを添えて返却するとともに、返却後、解答例を授業で解説する。

《成績評価基準》

授業の取組み:グループ討議で積極的に発言したか、意見集約したか、または発表をしたか。発表に対して質問若しくは意見を述べたかいずれかの行動が確認できること。 レポート:提出期限内に提出し、規定文字数の90%以上の文字数で、誤字・脱字がなく、文脈に問題が無いこと。 筆記試験:授業の取組み、レポートとあわせて60%以上の得点であること。

《参考図書》

「造園施工管理技術編」(社)日本公園緑地協会、「自然保護」その生態学と社会学、吉田正人、地人書館

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習:環境保全に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
2	造園の社会的職責・職能と環境保全	予習:造園施工管理技術編等造園に関する書籍で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
3	エコロジーと環境保全、環境倫理	予習:「自然保護」など参考書に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
4	地球と人間の歴史	予習:教科書「人間と緑地環境」に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
5	地球環境問題	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
6	環境問題に直面する国々	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から予習しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
7	リモートセンシング	予習:教科書「緑地植物の生育と緑地評価」に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
8	身近で起こっている環境問題(グループ討議)	予習:地球環境に関する書籍、ニュース等から議題を準備しておく(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
9	森林測量	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
10	森林航測	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
11	測樹学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
12	大気科学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
13	地球発達史	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
14	惑星科学	予習:事前に配布した資料で予習しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)
15	まとめ	予習:教科書、配付した資料に目を通しておくこと(2時間) 復習:今回学んだ授業内容を復習しておく(2時間)

《専門科目》

科目名	景観論				
担当者氏名	武林 晃司				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

景観の概念や構成要素、評価の視点等、景観とは何かということを生んでもらう。次に、実際の景観計画・デザインの手法をデザインの実例や景観シミュレーション等をもとに示すとともに、3回程度のワークショップにより景観計画・デザインを体験してもらう。福岡の景観形成に長年コンサルタントとして携わってきた実務家教員が実効性の高い手法を講義する。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。
課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

トータルランドスケープ(景観)の中で極めて重要な役割を担う緑地を含む環境設計は、計画から設計・施工に至るまで対象が多岐にわたり、個人の住宅外構から都市景観にまで及ぶ。都市生活者は目に見える範囲をスケールや官民の区別なく景観として捉える。本講義では今後の景観の概念や構成要素、評価の視点を学ぶとともに、環境設計における景観の配慮のあり方、緑地の重要性等を理解してもらう。

《成績評価基準》

筆記試験90%、授業の取組10%で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 90%
授業の取組 10%

《参考図書》

景観論
G. エクボ、久保貞

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	景観の基本的な考え方	予習：シラバスに目を通すこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
2	景観の基本的な考え方	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
3	景観計画の役割と目的	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
4	景観の捉え方	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
5	景観の捉え方	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
6	景観計画のためのアプローチ	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
7	景観計画のためのアプローチ	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
8	景観計画のための調査・分析	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
9	景観計画のための調査・分析	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
10	景観計画のための調査・分析	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
11	景観の構造化のための視点及び方法	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
12	景観の構造化のための視点及び方法	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
13	景観の構造化のための視点及び方法	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
14	景観の設計における提示方法	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)
15	景観形成と自然、緑の景観的役割	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(2時間)

《専門科目》

科目名	植物保護学				
担当者氏名	清水 進				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。				

《授業の概要》

植物に発生する病害や虫害を理解した上で、それらに対する効果的防除法及び化学農薬の安全な使用法について解説致します。

《教科書》

「最新・樹木医の手引き」日本緑化センター、
「植物医科学」養賢堂

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

緑地造成とその維持管理に必要な病害虫の適切な防除の基礎的な知識の習得を目指します。

《成績評価基準》

植物に発生する病害や虫害の種類とそれらの診断・防除技術の理解度(筆記試験)、レポート内容および授業への取組により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 20%
授業の取組 20%

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	植物病害について 発生、感染メカニズム	予習：シラバスに目を通すこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
2	植物病害について 病原の種類と特徴	予習：病原の種類と特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
3	植物病害について 主な植物病害と防除	予習：ウイルス病と細菌病の防除(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
4	植物病害について 主な植物病害と防除	予習：菌類病の防除(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
5	害虫について 害虫の形態と分類	予習：昆虫綱の主な目の特徴(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
6	害虫について 害虫の種類と食害部位	予習：主な害虫の食害部位(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
7	害虫について 主な害虫の生態と防除	予習：主な土壌害虫の生態と防除(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
8	害虫について 主な害虫の生態と防除	予習：主な害虫の生態と防除(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
9	害虫について 総合的害虫管理	予習：総合的害虫管理(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
10	松くい虫被害とその防除について	予習：松枯れ被害の状況(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
11	農薬について 人々の生活と病害虫との関り	予習：農薬の歴史(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
12	農薬について (殺虫剤の種類及び作用機構)	予習：殺虫剤(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(13時間)
13	農薬について 殺菌剤剤の種類及び作用機構	予習：殺菌剤(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
14	農薬について 安全評価と登録農薬、使用方法	予習：農薬の安全な使用方法(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)
15	まとめ	予習：配布プリントの整理と質問事項の抽出(2時間) 復習：授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間)

《専門科目》

科目名	造園関係法規				
担当者氏名	田沼 和夫				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。			

《授業の概要》

- ・労働基準法や都市公園法などを解釈し、応用できるようになる。
- ・11月の2級造園施工管理技術検定の基礎を学習できる。
- ・社会の動向を一般化して解釈できるようになる。

《教科書》

適宜、プリント、関係する新聞記事等を配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・質問については、適宜受付、その場で回答します。

《授業の到達目標》

- ・将来自分が関係する緑地環境分野の法律を理解できるようになる。
- ・緑地環境関連の法律を自分で理解し、具体的に应用することができるようになる。
- ・緑地環境分野の資格には必須である。(ピオトープ計画管理士等)

《成績評価基準》

- ・造園関係法規を解釈して、自分の課題に应用できるかを評価基準とします。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%
授業の取組 30%

《参考図書》

造園施工管理(法規編) 日本公園緑地協会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	建設業法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
2	労働基準法・労働安全衛生法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
3	都市計画法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
4	都市公園法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
5	都市緑地法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
6	環境基本法・生物多様性基本法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
7	自然公園法・自然環境保全法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
8	土地区画整理法・宅地造成等規制法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
9	建築基準法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
10	環境影響評価法(環境アセスメント法)	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
11	世界遺産	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
12	景観法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
13	文化財保護法	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
14	造園関係法規の最新動向及び法律改正解釈	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間
15	総括及び応用	予習：法律用語の予習2時間 復習：法律の応用 2時間

《専門科目》

科目名	ガーデン管理演習				
担当者氏名	小才 寛康、永島 知子、藤原 良治、秦 忠広				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。				

《授業の概要》

ガーデン演出を行う再の作業手順や作業効率などを演習を通じて学習し、より合理的な取り組みを追求していきます。
メンテナンスでは、季節の移り変わりや植物の生育に応じた植栽管理を行い学習していきます。
日頃から植物の生育をよく観察し、特徴を捉えて植物名を覚えていきましょう。

《授業の到達目標》

- ・ガーデン演出の組み立てを理解して習得する。
- ・植物の性質と特徴を学習して数多くの植物名を覚える。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 % 実技 50%
授業の取組 50%
その他 () %

《教科書》

「造園施工管理 施術編」公園緑地協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

授業の取組50%、実技50%で評価する。

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガーデン観察及びメンテナンス	シラバスを熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	ガーデン観察及びメンテナンス	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	ガーデン観察及びメンテナンス	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	ガーデン演出とガーデン演出の管理技術	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	ガーデンエレメントの制作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	ガーデンエレメントの制作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	ガーデンエレメントの制作	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	ガーデンの整枝、剪定、清掃	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	学外ガーデン管理見学	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	まとめ	演習で取り組む内容について教科書を熟読しておくこと。(2時間) 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	フラワーコーディネート				
担当者氏名	野口 静香				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

1年生でフラワーの授業を受けなかった学生も受けた学生も造型・表現方法・花や植物を使った可能性、いろいろ使って作っていく商品として通用する作品。(花材は別途必要です)

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

植物・花に携さわる職業に就く事を前提に生活空間における自由な発想で花や緑を装飾、デザインできる。花を通して自分の個性が表現でき人とのコミュニケーションできる総合的にできるデザイナーになれる。

《成績評価基準》

植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、個性、感性、作る姿勢等総合評価します。

《成績評価の方法》

実技 50 %
授業の取組 50 %

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	フラワートピアリー制作と由来	予習: シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
2	オータムギフトアレンジ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
3	ハロウィンアレンジメント	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
4	色彩の変化を感じる花束とラッピング	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
5	ブリザーブドフラワーアレンジ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
6	木の实を使ってフラワーケーキ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
7	木の实のオーナメント	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
8	ドライフラワー使ってハーバリウム	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
9	クリスマスツリーアレンジ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
10	クリスマスリース	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
11	お正月 門松、リース制作	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
12	お正月 生花アレンジメント	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
13	成人式、髪飾り、ギフトアレンジ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
14	バレンタインギフトアレンジ	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)
15	テーブルコーディネート	予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	園芸福祉				
担当者氏名	山本 俊光				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP2 社会問題に関心を持ち、積極的に解決しようとする事ができる。				

《授業の概要》

授業形態は講義を基本とするが、園芸福祉の実際は演習を通じて行う。栽培を基本として植物を介して環境、教育、健康福祉まちづくりに関わっていくノウハウを学ぶ。

《教科書》

『園芸福祉入門』進士五十八・吉長成恭監修日本園芸福祉普及協会編

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小試験、レポートなどは採点し返却する。

《授業の到達目標》

植物を介した活動が人の心身に与える影響について理解する。
園芸福祉士合格レベルまで理解を深める。
園芸福祉士を目指す意義を理解する。

《成績評価基準》

レポート、課題の取り組み意欲と態度、提出状況
授業内容を網羅した筆記試験が6割以上であること

《成績評価の方法》

筆記試験80% レポート10%
課題10% 実技 %
授業の取組 %
その他 () %

《参考図書》

『園芸療法を探る』2000松尾英輔グリーン情報
『園芸社会学』1998ダイアン・レルフマルモ出版社株式会社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	教科書の序章を読んでおく 話を振り返りながら大事なところに線を引く
2	車椅子体験	体験したことを振り返る 用具の名称、使い方を整理する
3	第1章 園芸福祉の活動とは(1)	教科書p27から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
4	第1章 園芸福祉の活動とは(2)	教科書p41から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
5	第2章 活動を地域のなかに普及する(1)	教科書p63から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
6	第2章 活動を地域のなかに普及する(2)	教科書p80から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
7	第3章 コミュニティづくりに生かす(1)	教科書p93から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
8	第3章 コミュニティづくりに生かす(2)	教科書p118から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
9	第4章 植物をよく知り活用しよう(1)	教科書p133から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
10	第4章 植物をよく知り活用しよう(2)	教科書p159から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
11	第5章 誰もが楽しめるプログラム(1)	教科書p179から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
12	第5章 誰もが楽しめるプログラム(2)	教科書p198から読んでおく 講義を思い出しながら大事なところに線を引く
13	作業分析の考え方と実践	園芸作業についてわかりやすく伝えるための方法について学ぶ ノートに整理して実践できる様にしておく
14	園芸福祉の実践例	実践例を見て自分の考えをまとめる
15	授業のまとめ	園芸福祉とは何かについて正しく理解し言葉で表現できるようにまとめる

《専門科目》

科目名	造園施工管理演習				
担当者氏名	高宮 さやか				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

造園施工管理技術検定において、過去に出題された問題を解説しながら解く。
 検定では実務の経験がないと理解しにくい分野もあるため、現場の実情と合わせて解説する。

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は、1週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

2級造園施工管理技術検定学科試験合格を目標とする。検定は11月に実施されるため、10月までの間に週2回の授業を行う。

《成績評価基準》

本科目は単位認定科目ではない。
 授業への取組80%、模擬試験の正答率20%。

《成績評価の方法》

授業への取組 80%
 時間内に行う模擬試験 20%

《参考図書》

「造園施工管理技術編」(社)日本公園緑地協会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	過去問題解答・解説 造園史・土壌	予習：シラバスに目を通すこと(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
2	過去問題解答・解説 肥料・品質寸法規格	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
3	過去問題解答・解説 植物材料・石材	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
4	過去問題解答・解説 計画・移植工・植栽工	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
5	過去問題解答・解説 剪定・病害虫	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
6	過去問題解答・解説 公園施設・遊戯施設・	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
7	過去問題解答・解説 運動施設・修景施設	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
8	過去問題解答・解説 土工・コンクリート工	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
9	過去問題解答・解説 擁壁・舗装・排水	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
10	過去問題解答・解説 建築・電気・給水	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
11	過去問題解答・解説 測量・契約約款・設計図書	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
12	過去問題解答・解説 施工計画・工程計画	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
13	過去問題解答・解説 安全管理・品質管理	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
14	過去問題解答・解説 建設業法・労働基準法	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)
15	模擬試験	予習：前回の授業内容についてノートに記録したことを熟読する(1時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておく(1時間)